

令和7年度環境活動報告

部局名: 教育学部

教 育	<ul style="list-style-type: none">・社会科教育(地理学)では、野外実習およびフィールド調査を取り入れた授業(地理学実験(10月)、地理学野外実習Ⅰ(2月)、地理学野外実習Ⅱ(2月))を行った。・全学共通教育講義「岐阜県の生活と文化」で、岐阜県の鶺鴒、和傘、提灯、陶器に関する野外実習を行い、自然資源を活用した人の生活、文化から「人と自然との関わり」について学ぶ講義を行った。・大学院講義「地誌学の理論と教材開発」で、濃尾震災に関する学校小誌や当時の新聞記事から、地震災害に関する地域の自然環境と歴史について学習する教材研究と教育の在り方について論じた。・化学3年生に対する「環境化学」という講義のなかで、空気・水・土壌の汚染物質と公害の実例を提示し、環境基準の意味や環境改善の取り組みなどを講義した。SDGsの考え方、グリーンケミストリーなどに関する講義を行った。持続可能な開発のための化学の在り方など議論を行った。・理科教育(化学)では、学部1年に対して、「化学実験」という講義のなかで、薬品の危険性・毒性および取り扱いなどを講義した。・理科1～2年生に対する理科Ⅱ及び化学3年生有機化学実験法及び実験の授業のなかで、薬品の取り扱いと危険性・毒性について講義した。酸性雨・CODなどの水のよごれなどを調べる基本事項、セッケンや合成洗剤の合成・性質・環境への影響などについてを講義・実習を行った。・理科教育講座(地学)において「地球システム論」、「地球物理学実験」、「地学実験」、「自然環境学」、「地球環境論」、「地質学鉱物学実験」、「地球科学野外実習」、小学校「理科」、「理科Ⅳ」で岐阜県内を中心とした自然環境に関する講義と実習を行った。・教育学部講義「動物生理学及び実験」(理科教育・生物・2年生)で、岐阜大学周辺での水生生物の採集・種同定を通じた、河川環境の評価を実施した。・全学共通教育講義「岐阜県の生物の分布と生態」で、河川の問題に関する講義・岐阜市および東海地方の植物相、外来生物、希少生物、環境保全に関する講義を行い、関連する内容のレポートを提出させた。・大学院講義「生物の構造と機能および生物と環境の関わりに関する学習」で、身近な植物の観察を行い、児童生徒への学習方法について考察し、より良い環境教育のあり方を論じた。・教育学部講義「植物形態学及び実験」(理科教育・生物・3年生)岐阜大学キャンパスでの植物の観察・採集・種同定を通じて、キャンパスの自然を評価した。・教育学部講義「初年次セミナー」(理科教育・1年生)街中や岐阜大学キャンパスでの植物の観察・採集・種同定を通じて、身近な自然環境・生物多様性を学習した。・教育学部講義「生物学実験」(理科教育・1年生)で大学近隣の野外観察を通じて、身近な自然環境・生物多様性を学習した。・(小)理科教育法(2年生)で地球環境や生態系の保全に対する理解を促す講義を行った。・理科教育法Ⅱ(2年生)において、気候変動に焦点をあてて、中学校理科の単元「持続可能な社会をつくるため」に関するカリキュラム開発の講義を行った。・教育学部講義「理科」(2年生)で、身近な場所で観察できる昆虫や植物に関する課題に取り組みさせた。・教育学部講義「植物生態学概論」(理科教育・生物・2年生)で、定期的にキャンパス内の動植物の観察をして学生間で意見交換する授業内のブログ課題に取り組みさせた。・教育学部講義「生物学特論」(理科教育・生物・4年生)で、乗鞍高原にて1泊のキャンプ実習を実施し、自然観察を行い、飛騨地域の環境と生物の関わり合いについて体感させた。・教育学部講義「遺伝学」(理科教育・生物・2年生)で、昆虫の寄生や細胞内共生などの生物間相互作用などに関する教育を行った。・教育学部講義「植物系統学」(理科教育・生物・2年生)で、地球上での現在までの自然環境の成り立ちと植物の多様性に関する教育を行った。
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部講義「理科III」(理科教育・2年生)で、生態系における生物間相互作用や物質循環などに関する教育を行った。 ・教育学部講義「生活」(2年生)において、学部農場での身近な植物観察と栽培を行い、学生の生命尊重心・自然愛護心を育んだ。 ・教育学部講義「細胞分子生物学及び実験」(理科教育・生物・3年生)において、昆虫の観察や形態測定を行った。 ・教育学部講義「臨海実験法及び実験」(理科教育・1年生)において、海産生物の観察と採集を通じて、“磯焼け”や海水温変動による生物相の変化について論じた。 ・教育学部講義「教職実践演習」(4年生)で、キャンパス周辺でみられる水生生物や身近な動植物について学習し、岐大祭期間中に見学者への展示解説を行った。 ・美術教育講座の授業「彫塑1」において、生物多様性をテーマに木彫制作に取り組ん ・美術教育講座では、公開講座「岐阜の木を使ってカトラリーを作る」(高校生対象)」「岐阜の木を使ってカトラリーを作る(教員・上級者対象)」「木彫教室」を実施した。岐阜県内の木材を用いた工作活動を行った。 ・美術教育講座教員と学生が、附属小中学校第2学年「図画工作」で、彫刻と木の講義と、かんなかかけ体験を実施した。木工で使われる樹木や葉、木材の形や色、においなどを観察し、実際にけずったかんなくずや木片、葉などで絵画を作成した。 ・「家庭科概論、住居学概論、家庭電気機械」において「持続可能な住まいと環境」に関する講義を実施した。 ・「家庭科教育法IV」において「環境とライフスタイル」情報と環境、ライフスタイルの関係について考えた。 ・教育学部講義「栄養学」(家政1年)において、エネルギー・栄養素フローを通じた自然と環境と人体との調和、及び、食文化について講義を行った。 ・全学共通教育講義「栄養と運動」(全学1年)において、エネルギー・栄養素フローを通じた自然と環境と人体との調和、及び、食文化について講義を行った。 ・「食品学概論」において、食品ロスに関する実情や取り組み、調理を行う際に環境負荷の軽減に着目した操作について説明を行った。 ・「被服学(被服実習を含む)」において、持続可能な衣生活と環境配慮した生活に関する講義を実施した。 ・学部ホームページ上において、公開講座の募集など教育学部教員の取り組みを紹介した。
<p style="text-align: center;">研 究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の昆虫を採集し、遺伝的多様性について評価した。 ・附属小中学校との共同研究として「身近な植物の観察」の研究授業を実践し、身近な環境に見られる生物への子供たちの興味関心・愛護心の向上に貢献した。 ・内藤記念くすり博物館との協働プロジェクト「岐阜県の絶滅危惧植物の保全研究」をスタートし、社内勉強会の講師を務めるとともに、野外調査、生育地保全・域外保全の活動を行った。 ・絶滅が危惧されるものを含む当地域の植物について、種分化と系統進化に関する研究を行い、得た知見を学会で発表した。 ・ヨシノボリ属魚類に寄生する粘液胞子虫の生態研究を行い、寄生虫感染と河川環境の関係を考察した。 ・環境省の絶滅危惧IB類に指定されている淡水魚シロヒレタビラの遺伝的集団構造を解明し、保全単位を提唱する論文を発表した。 ・岐阜県内での野外観察を中心とした研究により、モデル生物であるミナミメダカの自然状態での繁殖生態の一端を解明し、論文として発表した。 ・岐阜県内に自生するサネカズラと送粉者であるタマバエの生物間相互作用に関する研究を行った。 ・理科教育講座(地学)において、湖沼堆積物や生物化石に記録される過去の気候・環境の復元や、雨水、河川水、湖水の水文学的分析による現行の環境変化の研究を行った。 ・持続可能な開発のための新たな脱水プロセスの開発を行っている。独自の脱水過程を開発し、炭素-炭素結合、複素環化合物合成法の開発に関する研究を行い、その知見を国際会議などで発表した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、地域の野生動物の生息環境と獣害対策に関する調査研究を行った。 ・社会科教育(地理学)において、津波災害とその避難経路に関する調査研究を行った。
社会 会 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部教員(理科教育・生物・古屋教授)が、今年度、岐阜県自然環境保全審議会委員、岐阜県レッドデータブック改定調査検討委員会・委員長を務めた。 ・本学部教員(理科教育・生物・三宅教授)が日本生態学会生態学教育専門委員会委員を務めた。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が、今年度、飛騨地域エコロード委員(国土交通省)、岐阜県環境影響評価審査会、愛知県環境影響評価審査会、岐阜県自然環境保全審議会、岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員、岐阜県生態系被害防止外来種リスト作成調査検討委員会、豊橋市文化財保護審議会委員を務めるとともに、岐阜県内各所の開発予定地における環境アセスメント調査結果の現場検証や相談に対する指導・助言を行った。また、岐阜県植物研究会・運営委員、岐阜県植物誌調査会・副会長として、岐阜の植物相と植生の調査研究及び絶滅危惧種の評価を行った。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が環境保全や自然観察を行う学生サークル(G-amet、生物科学研究会)などへの標本作成指導および活動をサポートした。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が2025岐阜大学公開講座、岐阜大学・十六銀行産学連携プロジェクトくるるセミナー、各務原市各務野科学ラボの講師を勤め、様々な生物を使った観察実験をもとに、一般および子供たちの生物・環境への興味関心・愛護心の向上に貢献した。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が第25回日本分類学会連合公開シンポジウムにおいて「地域植物研究の灯を地方大学に継ぎ熾すや」と題した講演を行い、民間学が協働した自然史研究の重要性に関する情報発信を行った。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)がNHK番組「沼にハマってきいてみた」より依頼を受け、東海地方の自然の取材および登場人物へ自然保護についてのアドバイス・指導を実施した。 ・本学部教員(理科教育・生物・三宅教授)が大学連携研修(6年目研修・高校理科)で、コロナウイルスの変異や進化に関する教員研修を行った、 ・大学連携研修(6年目研修)で「岐阜県における大地のつくり」に関する内容で岐阜県の小中学校の教員研修を行った。 ・各務原市の小学校高学年を対象に環境放射線についての授業を実施した。 ・各務原市の小学校高学年を対象に自然界の光の性質についての授業を実施した。 ・福島県大熊町での環境放射線研修にて放射線測定の講師をした。 ・岐阜市の小中学生を対象に環境放射線についての授業を実施した。 ・本学部教員(理科教育・生物・三宅教授)がサニーサイドインターナショナルスクール小学部2年生を対象に、昆虫採集や昆虫の擬態について出前授業を実施した。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が、美濃小学校3年生を対象に、ヘチマたわしの制作とSDGsに関する出前授業を実施した。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が、美濃小学校全校教員研修において「身近な植物観察」の効果的な教授法および環境教育についての講習を行った。 ・本学部教員(理科教育・生物・三宅教授)が国際学術誌Plant Species Biologyの日本語サイトで各号ごとに掲載される植物自然誌研究の1つについて紹介した。 ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、岐阜県が主催するシンポジウム「人とクマ、その距離を考える」で「クマの対策 クマとの付き合い方」と題し、講演した。 ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、岐阜県環境生活政策課と共に、中津川市坂下でクマによる人身被害について現地視察と環境整備の助言を行った。 ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、中日新聞(10月26日、11月23日掲載)からクマ対策に関する新聞記事の取材を受けた。 ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、岐阜新聞(10月28日掲載)から濃尾震災時の学校の被害について書かれた興文小学校の『震災小誌』に関する新聞記事の取材を受けた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、岐阜県環境生活政策課と共に、飛騨市の農園でのクマ等野生動物による獣害の現地視察および対策に関する助言を行った。 ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、東山動植物公園からの依頼で一般市民向けのフォーラム「野生動物とともに生きる ～クマ・キツネと人との関係～」で中部地域における人とクマの関係や獣害対策について講演を行った。 ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、大学院生(教職実践開発専攻教科指導能力開発コース・言語社会系)、防災アーカイブぎふのメンバーと共に、濃尾震災記念堂で濃尾震災の写真パネル、興文小学校の『震災小誌』の紹介パネル展を行い、『震災小誌』の講演とワークショップを開催した。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">キャンパスプラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境及び省エネルギーに関する教育訓練再確認シートにFormsを利用して回答し、環境意識の啓発に努めた。 ・ISO14001に関連した学部独自の「実験・実習のための安全衛生・環境の手引き」を作成している。 ・学生ガイダンスの際に、ISO14001に対する大学としての取り組みを紹介した。 ・各建物の照明をLEDに換え、電力使用量の削減に取り組んだ。 ・改修工事に伴い不用品として搬出された什器等をアップサイクルしたりリサイクル市を開催することで再利用に努めた。